

遮光シートによるナガエツルノゲイトウ抑制実験部分的検証

美しい手賀沼を愛する市民の連合会 顧問 間野 吉幸

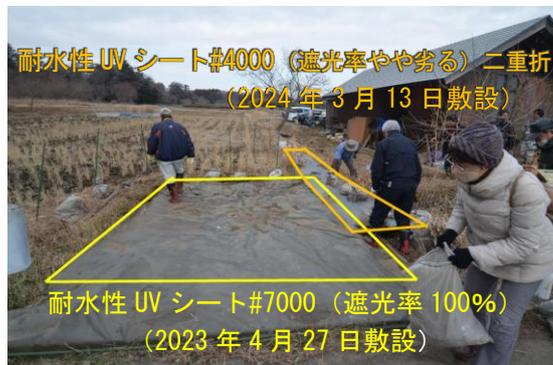
我孫子市都部谷津の水田で、ナガエツルノゲイトウが繁茂しているエリア 2 箇所に遮光シートを敷設し、抑制実験を行っています。そのうちの 1 箇所の地点 C のシートを取り外し、ナガエツルノゲイトウの生育状況を観察することにしました。本来ならば、2 年間経過の 2025 年 6 月以降に検証する予定でしたが、夏期の活発な生育期ではなく、植物の代謝や光合成の速度が下がる冬期の状況を確認することにしました。

日時：2025 年 2 月 12 日（水）10:00～11:50

場所：我孫子市都部（谷津ミュージアム作業小屋西側）

観察地点 C

参加者：農研機構 嶺田拓也、千葉生態系研究所 浅間茂
 千葉県立中央博物館 林紀男、千葉県保全課 田口
 我孫子市手賀沼課 高橋・今野、白井市環境課 川上
 柏市環境政策課 武内・山岡、いであ(株) 弓木・小島
 岡発戸・都部谷津ミュージアムの会 平原・石橋、美手連 9 名



◆遮光シート取り外しと観察場所区割り作業



地点 C の遮光シート剥がし



地点 C 畦畔の遮光シート捲り上げ



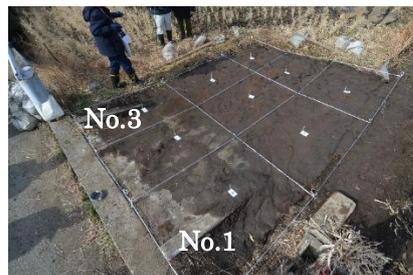
ピン立て



紐かけ（外周部）



紐かけ（内周部）



区割りの完成（番地札設置）

◆今後の取り組み

- 検証エリアを 9 分割し、それぞれ真上から撮影し、観察データを週 1～2 回程度の頻度で収集する。ナガエの生育状況を観察する。
- 2 月 12 日の時点では、シートを取り外すと区割り No. 1、No. 3 のシートの外側から内部にかけて約 30cm～50cm のナガエの茎が数本伸びていた。シート敷設時に、道路側のシート両端側面の遮光が完全ではなかったためと思われる。その他のシート内では確認できなかった。
- 畦畔シート（遮光率不詳 二重折）を捲り上げると、ナガエがほぼ全面に根を広げていた。シートの遮光率の違いによるものか。敷設期間が 11 箇月と短かったためか。畦畔シートは再度敷設した。
- いつまで観察するかは、今後の状況を見て判断する。

